



**Dear President Obama:
Please do not build a U.S. military base in Henoko.**

「オバマ大統領に異議申し立て 辺野古新基地建設NO！」 市民集会

日時：2014年4月21日（月）18：30～

会場：連合会館 2階大会議室

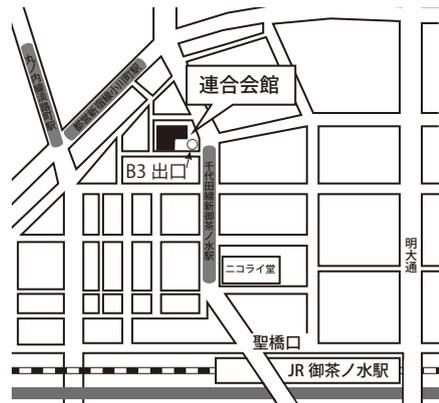
千代田線新御茶ノ水駅 B3 出口・JR 御茶ノ水駅 聖橋口出口（地図参照）

参加費：無料

【沖縄からの訴え】

大城悟さん（沖縄平和運動センター事務局長）

伊波洋一さん（元宜野湾市長）



アメリカのオバマ大統領が4月24日前後に来日することが予定されています。

日米両政府は辺野古新基地建設の推進をアピールして、6月にも埋め立てのためのボーリング調査などに着手し、埋め立て工事を強行しようとしています。ところがこの間、アメリカでは海兵隊総司令官や日米安全保障の専門家の発言、そしてニューヨークタイムズが社説で「辺野古見直し」を次々と表明しています。軍事的に辺野古には必要ない、地元住民の反対で実現は困難であると言っているのです。

アメリカ政府は、米軍再編の実行と日米同盟の強化のために、日本政府と一体に辺野古への新基地建設をリンクさせています。政治的な思惑から辺野古への新基地建設が進められているということです。

そもそも普天間基地の返還に移設条件を設けること自体がおかしいのです。普天間基地は沖縄戦でアメリカ軍が住民の土地を奪ってつくった基地です。本来、無条件に返還されなければなりません。それも今あるものを移すという「移設」ではなく、さらに長い年月にわたって使用できる最新鋭の基地に生まれ変わる「新設」です。

さらに普天間基地に配属され、辺野古新基地にも引き継がれるオスプレイは、アメリカでは訓練を住民の訴えがあれば中止しているのに、沖縄と日本ではまったく住民の訴えが無視されています。アメリカと日本では違う、二重基準だと指摘されています。

オバマ大統領へ「辺野古新基地建設NO」「普天間基地無条件返還」「オスプレイの配備撤回」を訴えましょう！

住民の命を脅かすな！ 希少動植物を絶滅させるな！ とアピールしましょう！

共催：フォーラム平和・人権・環境（平和フォーラム）／辺野古への基地建設を許さない実行委員会

お問い合わせ：フォーラム平和・人権・環境（03-5289-8222）<http://www.peace-forum.com/>

沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック（090-3910-4140）辺野古実 <http://www.jca.apc.org/HHK/NoNewBases/NNBJ.html>